

平成29年第7回福岡県教育委員会会議（定例会）会議録

1 開催日時

平成29年4月6日（木）15時00分から16時41分まで

2 場所

福岡県庁4階 教育委員会会議室

3 出席委員

奥田竜子、清家渉、久保田誠二、宮本美代子、前田恵理、城戸秀明（教育長）

4 欠席委員

なし

5 出席事務局職員

教育次長 吉田法稔、理事 松尾圭子、総務部長 辰田一郎、
教育企画部長 木原茂、教育振興部長 原田靖、総務課長 日高公德、
文化財保護課長 井手優二、企画調整課長 高田裕康、教職員課長 平川真一、
施設課長 松永一雄、高校教育課長 相原康人、義務教育課長 田中直喜、
人権・同和教育課長 木下尊雅

6 傍聴者等数

なし

7 会議

15時00分、奥田委員長が開会を宣言した。審議に先立ち、城戸教育長から、4月1日付人事異動に伴う新任及び転任幹部の紹介があった。

次に、奥田委員長が、本日の議題について非公開発議の有無の確認を行った。

第16号議案「平成29年度福岡県教科用図書選定審議会委員の人事について」は、前田委員から、人事に関する案件のため非公開とする発議があり、直ちに採決され、出席委員の3分の2以上の賛成をもって非公開と決定された。

その他の議案については、非公開の発議なく公開と決定された。

(1) 報告

- ・平成29年度福岡県教育施策実施計画について

高田企画調整課長から、福岡県教育委員会の事務委任等に関する規則第4条第1項の規定に基づき、教育長の臨時代理により策定し、同4条第2項に基づき今回報告し、その承認を求めるものである旨の説明があった。

次いで審議が行われ、奥田委員長から意見の有無を問い、全員異議なく承認された。

(2) その他

- ・平成29年2月定例県議会における教育委員会答弁要旨

城戸教育長から、2月定例県議会における教育委員会関連の代表質問及び一般質問に対する以下の答弁要旨について説明があった。

(代表質問) 本県公立学校教員の大量退職と新規採用について、特別支援教育について、講師と正規教員の賃金格差について、義務教育未修了者等に対する教育機会の確保について、音声教材の普及・活用の取組みについて、教員の長時間労働について、旧県立学校跡地の活用について、教員の採用と研修等について等

(一般質問) 学校統合を行う市町村に対する支援について、フッ化物洗口について、入院生活を送る児童生徒の学習環境の確保について、県立高校におけるGAP（農業生産工程管理）に関する学習について、ハワイ州との交流について、新学習指導要領の円滑な実施に向けた取組みについて等

次いで清家委員から、永久歯の虫歯予防手段として有効なフッ化物洗口は安全で、かつ環境汚染にもつながらないものであり、推進すべき施策である旨の意見があった。

次いで、宮本委員から、これまで教員の資質に関する指標はなかったのかとの質問があった。

これに対して、城戸教育長から、国から指標の作成を求められているため作成するものである旨の説明があった。

次いで、前田委員から、学校におけるミドルリーダーの経営能力育成の理由及び夜間中学の設置状況について質問があった。

これに対して、城戸教育長から、ベテラン教員が大量に定年退職することに伴い、これから指導的な立場となる教員の能力を育成する必要があること、また、県内には夜間中学は設置されていないが、それに近い

ことを自主的に行っている団体がある旨の説明があった。

次いで、宮本委員から、統廃合により旧県立学校跡地が発生し始めたのはいつ頃かとの質問があった。

これに対して、木原教育企画部長から、県立高等学校再編整備計画に基づき統廃合が行われた平成17年度から19年度にかけてである旨の説明があった。

次いで、奥田委員長から、特別支援教育ボランティアの人員等について質問があった。

これに対して、矢野高校教育課参事兼課長補佐から、大学生や地域のボランティアの方々をお願いしており、学校までの旅費及び事故があった時に備えるためのボランティア保険の料金を県が負担している旨の説明があった。

(3) 協議

- ・「福岡県特別支援教育推進プラン」の策定について

田中義務教育課長から、「障害者の権利に関する条約」に掲げられたインクルーシブ教育の理念を踏まえ、全ての学校の全ての教職員によって障がいのある子どもの自立と社会参加を推進していくことが強く求められており、3月に策定された福岡県総合計画において、特別支援教育を推進するための中長期的な計画を策定し、これを着実に進めていくこととされていることから、本県が目指す特別支援教育推進の理念及びその実現のために重点的に取り組む施策について策定するものである旨の説明があった。

次いで審議が行われ、宮本委員から、特別支援学校で実施される職業訓練の内容について質問があった。

これに対して、田中義務教育課長から、清掃やビルメンテナンス、接客などが多く、技術的な面では、業界と連携して技能検定を取り入れていきたいと考えている旨の説明があった。

次いで、清家委員から、就職を希望する特別支援学校生徒の割合について質問があった。

これに対して、田中義務教育課長から、おおむね40パーセント程度であり、就職を希望している生徒のほとんどが就職できていること、また、一般就労を希望する生徒の割合向上のために、3つの特別支援学校において継続的な就業体験を実施する事業を平成28年度から行っており、平成33年度までに50パーセントを目指す旨の説明があった。

次いで、久保田委員から、就学前の幼児に対する支援について質問があった。

これに対して、田中義務教育課長から、幼稚園教員の新規採用者研修において、特別支援教育について学ぶ内容を充実させていきたい旨の説明があった。

次いで、宮本委員から、通常の学級で学習している障がいのある児童生徒について質問があった。

これに対して、田中義務教育課長から、現在は保護者の意向により在籍する学校を選択する権利が制度上保障されており、また、発達障がいのある児童生徒の多くが通常の学級に在籍している状況である旨の説明があった。

次いで、奥田委員長から、活字文書読み上げのための音声コードがページ内に挿入されているが、これは初めての取組みなのかとの質問があった。

これに対して、田中義務教育課長から、音声コードは現在全県的に取り入れが進められており、初めての取組みではないとの説明があった。

次いで、奥田委員長から他の意見の有無を問い、これについては、次回の教育委員会会議において、議案として審議することとなった。

公開審議はここまでとされ、以後非公開にて審議を行う。

(4) 議事

- ・第16号議案 平成29年度福岡県教科用図書選定審議会委員の人事について

田中義務教育課長から、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第9条の規定に基づき、平成29年度福岡県教科用図書選定審議会委員の人事を行うものである旨の説明があった。

次いで審議が行われ、第16号議案は原案どおり可決された。

奥田委員長が閉会を宣言し、16時41分閉会した。